

青 垣

第11号 発行日 平成20年8月12日

雲南市立吉田中学校だより

吉中緑の少年団 全国大会で表彰 「みどりの奨励賞」に輝く (全国緑の少年団連盟会長賞) ～ 全国で5団体が受賞～

7月30日に福島県郡山市において開催された「第19回緑の少年団全国大会」記念式典において、吉田中学校 緑の少年団が「みどりの奨励賞(全国緑の少年団連盟会長賞)」を受賞しました。

吉田中学校 緑の少年団は、長年にわたる取り組みが高く評価され、島根県の代表として県緑化推進委員会より「第32回全国育樹祭」併催「全国緑の少年団活動発表大会」への推薦を受けていました。

「みどりの奨励賞」(緑と水の森林基金事業)は、「全国緑の少年団活動発表大会」の推薦団体の中から、緑化や森林に関する活動、地域における奉仕活動など、優れた緑の少年団を対象に選考されます。その結果、7月2日開催された選考委員会において、吉田中学校 緑の少年団の受賞が決定しました。

林野庁長官や福島県知事も臨席



表彰の行われた記念式典には、本校から代表生徒2名と引率教員が出席し、全国緑の少年団連盟 谷福丸会長より賞状と副賞をいただきました。「みどりの奨励賞」は、吉中の

他に4団体が受賞しました。本校は、学校林において森林組合職員等の指導のもと「間伐体験活動」を実施しており、間伐材は授業の中で木工作品づくり等に利用しています。また、ふるさと学習(総合的な学習の時間を活用)での「吉田の稲わら」や「吉田の自然」では、地域の皆様の協力のもと、米作りに関する体験学習、森や木に関する調査など、地域にある様々な自然や歴史文化を学ぶ活動を実施しています。このような取り組みとともに、生徒会が中心となり実施している地域での奉仕活動等が相まって評価され、今回の受賞となりました。

この受賞により10月25・26日に愛媛県で開催される「第32回全国育樹祭」併催「全国緑の少年団活動発表大会」に吉田中学校 緑の少年団が参加をします。生徒たちの受賞による自信と、他団体の優れた取り組みの紹介や交流を通して、吉中緑の少年団の更なる飛躍を期待しています。

県吹奏楽コンクール 演奏に思いが“感動” ～ 届け響け心を一つに～

8月2日に大田市民会館で開催された、全日本吹奏楽コンクール島根県大会 中学校Bの部に吉田中学校吹奏楽部が出演し“銀賞”を受賞しました。

吹奏楽部は、このコンクールを目標に日々練習に取り組んできました。特に練習に集中する3年生の姿は、下級生の手本となりました。夏休みに入ってから、弁当持参の1日練習の日が続き、コンクールの会場をイメージして体育館での練習も重ねました。そして、大会前には、金本克康先生をはじめ多数の講師の皆さんのレッスンを受け、部員一丸となり最後の仕上げに取り組みました。



壮行演奏会の様子
(吉中体育館にて7/18)

当日は、課題曲「ブライアンの日」に続き、序曲「サーリセルカの森」を演奏しました。部員たちの心を一つにした演奏は、音楽とともに情景を思い描かせてくれました。休日を楽しむブライアンの様子が力強く、切れのあるリズムで伝わってきました。また、サーリセルカの森を通り抜ける様々な風を、音色とともに感じ取ることができました。きっと演奏者の思いが伝わってきたからでしょう。部員たちの堂々とした演奏は、これまでの練習の成果を十分に発揮する素晴らしいものでした。

コンクールの結果は、部員たちの目指した賞とは異なりましたが、「美しい音色で聴く人に感動を与える演奏」という目標は、聴衆の皆さんにしっかりと届き、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。
= がんばった あなたが1等賞 =



県総体 バレーボール 隠岐の島で懸命のプレー ～ 1点の重さを実感 2回戦惜敗～

吉中バレー部は、雲南市飯南町の代表として7月22日～24日に隠岐の島町で開催された、島根県中学校総合体育大会バレーの部に参加をしました。

この大会には、県内各地の予選を勝ち抜いた、男子19チーム、女子31チームが集まりました。参加した各チームは、県制覇と中国大会への出場権を得るため熱い戦いを繰り広げました。

開会式は、22日に隠岐の島町レインボーアリーナで行われ、フロアーには登録選手を中心に830名が、観客席には、島民の皆さんや本土から駆けつけた各チームの応援団500人が陣取り、暑さと熱気の中で大会がスタートをしました。



7月22日 1回戦 雲南市飯南町 [25-21] 川本
会場：隠岐高校体育館 [25-13]

1セットの序盤、川本の高いブロックに吉田のスパイクがつかまる、更に高い打点からのスパイクに苦しめられ5-10と大苦戦、中盤は吉田のサーブポイントと川本のミスが目立ち15-15の同点、その後は両者ゆずらず21-21、終盤は吉田のブロックを避けてのコース打ちや、粘りのレシーブで1セット目を取ることができました。2セット目は堅さもとれ吉中のバレーを展開、17-13と追い上げられる場面もありましたが、その後は5本連続のサーブポイントなどが決まり1回戦を突破しました。

7月23日 2回戦 雲南市飯南町 [23-25] 吉田
会場：レインボーアリーナ [23-25]

2回戦は斐川東を破り勝ち上がってきた、東陽中(益田)とのベスト8を駆けての対戦となりました。

1セットの終盤、23-21とリードをしながらも東陽のスパイクで逆転負け、2セット目も23点を先取しながらも惜敗。1点の重みをしっかりと感じ取られた試合でした。

試合を振り返るに、1セット序盤の吉田のスパイクやサーブのミスで試合がもつれたのが、勝敗を左右したと考えます。選手たちは「あきらめない吉中バレー」を最後まで展開してくれました。大きな拍手を贈ります。



昨年の新人戦は大会参加すらできなかったチームが、県総体出場、1回戦勝利を達成することができて、本当に選手たちはよくがんばったと思います。特に2人の3年生は、苦しい時期を乗り越えて最後までがんばりました。これを受け継いで、1,2年生は、新たな目標に向かっていっそう努力してほしいと思います。(監督より)

県総体 陸上 あきらめない姿に感動 ～ 自己新記録を目指して～

7月24・25日に浜山陸上競技場で開催された島根県中学校総合体育大会陸上の部に雲南市飯南町の代表として9名の生徒が参加をしました。

【参加種目・選手】全学年男子砲丸投げ(堀江)

3男1500m(和泉) 2男1500m(陶山)

2男1000m(願永) 1男1000m(森山)

低学年男子400mR(内田・瀬田・森山・願永)

35度の猛暑の中、選手たちは「気合いの一投」「ねばりの走り」で最後まで持てる力を十分に発揮し見る人に勇気や元気を与えました。また、仲間を一生懸命に応援する姿に、吉中生徒の素晴らしさを見て取ることができました。

残念ながら、すべての参加種目で予選を通過することはできませんでしたが、自己ベストを記録した生徒も多く、満足のいく大会となりました。また、高レベルの陸上競技を体験・体感したことは、今後の学校生活や部活動の一助になると考えます。



地域の皆様 保護者の皆様へ

県吹奏楽コンクール・県総体への“ご支援”“ご声援”ありがとうございました

お陰を持ちまして、吹奏楽部は銀賞、バレー部は1回戦突破、陸上競技は自己記録の更新と、これまでの練習の成果や持てる力を存分に発揮し、悔いの残らない演奏やプレーを披露することができました。

これも偏に地域の皆様、保護者の皆様の物心両面に渡るご支援のたまものと厚くお礼を申し上げます。

今後とも、吉田中学校の教育活動を支援していただきますようお願いするとともに、お礼のあいさつに代えさせていただきます。「ありがとうございました。」

“吉中体育祭”

期日 9月14日(日)

～ 来校をお待ちしています～

吉田中学校ホームページを紹介します

ホームページアドレス

<http://www.city.unnan.shimane.jp/yoshida-chu/>